

子供のベランダからの転落に関する事故情報

目次

第1	東京都が把握した事故件数.....	2
第2	事故の傾向	3
1	事故件数の時系列変化（東京消防庁救急搬送事例）	3
2	年齢別事故件数	4
3	男女別事故件数	6
4	発生建物別事故件数.....	7
5	発生階別事故件数.....	8
第3	事故の発生状況の分析	10
1	事故につながる動作.....	10
2	事故発生直前の子供の行動.....	19
3	その他詳細が不明な事例.....	24
第4	ベランダからの転落以外の事故事例	29
第5	ヒヤリ・ハット調査.....	30
1	調査概要	30
2	ベランダ・バルコニーでのヒヤリ・ハット事例	30

第1 東京都が把握した事故件数

安全対策を検討する上で、事故事例の分析が不可欠である。そこで、東京都（以下「都」という。）は東京消防庁救急搬送事例¹及び医療機関ネットワーク情報受診事例²を収集した。今回、都が把握した、平成19年度以降の子供のベランダ³からの転落により救急搬送された又は受診した12歳以下の事例は145件であった。

このうち、入院を要する事例（中等症以上の事例）は、全体の7割以上あり、死亡に至った事例は2件あった。

表 平成19年度以降把握事故件数

	件数	(内訳)危害の程度				
		軽症	中等症	重症	重篤	死亡
東京消防庁救急搬送事例	126	31	54	27	12	2
医療機関ネットワーク情報受診事例	19	5	13	1	0	0
合計	145	36	67	28	12	2

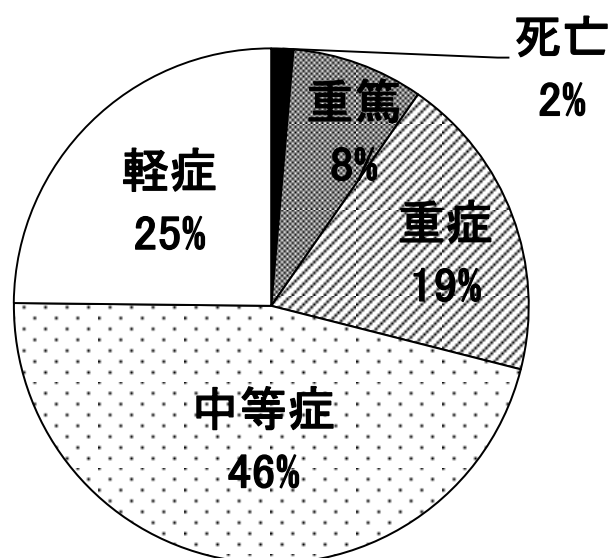


図 危害の程度別事故件数の割合

¹東京消防庁所管内（東京都のうち、稲城市、島しょ地区を除く地域）での救急搬送事例。本資料では平成19年4月から平成29年3月31日までの東京消防庁救急搬送事例を収集した。なお、平成28及び29年は暫定値。

²医療機関ネットワーク事業により得られた事故の情報。消費者庁と独立行政法人国民生活センターとの共同事業として、平成22年から実施している。本資料では、平成22年12月から平成29年4月30日まで伝送された事例を収集し、都が集計した。

³ベランダは「建物に外接して造られた屋根付きの縁状のもの（建築大辞典第2版、彰国社）」。バルコニーは「建物の外壁から突き出し、室内生活の延長として利用できる屋外の床（建築大辞典第2版、彰国社）」。ここでは、ベランダ及びバルコニーを含め、「ベランダ」と称する。

第2 事故の傾向

1 事故件数の時系列変化（東京消防庁救急搬送事例）

東京消防庁救急搬送件数の時系列変化を見ると、平成19年から中等症以上の事故が毎年10件程度発生している。

表 事故件数の時系列変化

事故発生年	危害の程度					合計
	軽症	中等症	重症	重篤	死亡	
平成19年(4~12月)	4	8	3	0	0	15
平成20年	5	5	2	1	0	13
平成21年	4	9	0	1	0	14
平成22年	2	6	3	0	1	12
平成23年	2	2	3	2	0	9
平成24年	2	4	5	0	0	11
平成25年	4	6	3	1	0	14
平成26年	1	6	4	1	1	13
平成27年	4	3	3	4	0	14
平成28年	2	4	1	1	0	8
平成29年(1~3月)	1	1	0	1	0	3
合計	31	54	27	12	2	126

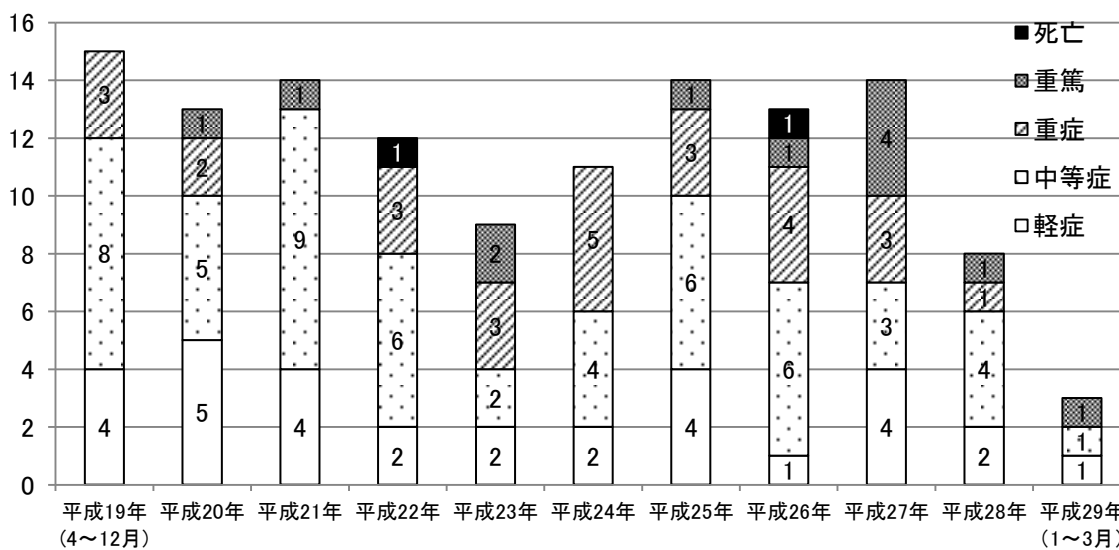


図 事故件数の時系列変化

2 年齢別事故件数

収集した 145 件の事故について、年齢別に分類した。2 歳児が最も多く、次いで 3 歳児、4 歳児と続き、年齢が上がるにつれて事故は減少しているが、10 歳以上でも事故が発生している。

子供の発達と行動の特徴は、生後 6 か月から 11 か月では、寝返り、ハイハイ、つかまり立ちが徐々に可能になり、指で物をつかむことができるようになる。1 歳から 2 歳になると、一人で歩行ができるようになり行動範囲が広がってくる。3 歳から 5 歳になると、走ったり登ったり活発な動きができるようになってくるが、まだ周囲の状況に対する判断が十分にできない。

表 事故件数（年齢・危害の程度）

年齢	危害の程度					合計
	軽症	中等症	重症	重篤	死亡	
0 歳児	0	0	0	0	0	0
1 歳児	3	3	5	1	0	12
2 歳児	12	12	3	2	0	29
3 歳児	5	9	3	5	0	22
4 歳児	2	7	3	2	2	16
5 歳児	2	8	3	0	0	13
6 歳児	5	4	1	0	0	10
7 歳児	3	3	3	0	0	9
8 歳児	0	1	0	0	0	1
9 歳児	1	4	2	0	0	7
10 歳児	1	11	0	0	0	12
11 歳児	1	3	2	0	0	6
12 歳児	1	2	3	2	0	8
合計	36	67	28	12	2	145

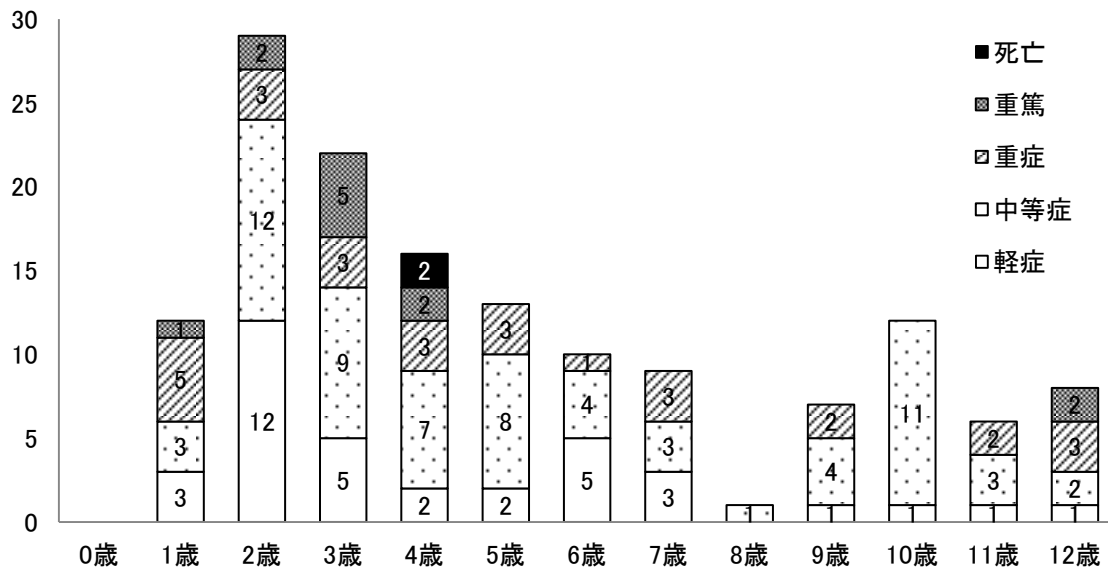


図 事故件数 (年齢・危害の程度)

3 男女別事故件数

収集した145件の事故について、男女に分類した。男児が103件、女児が42件であり、男児の方が事故件数は多かった。年齢別に見ると、6歳及び12歳では女児の方が事故件数は多かったが、それ以外の年齢では、男児の方が多かった。

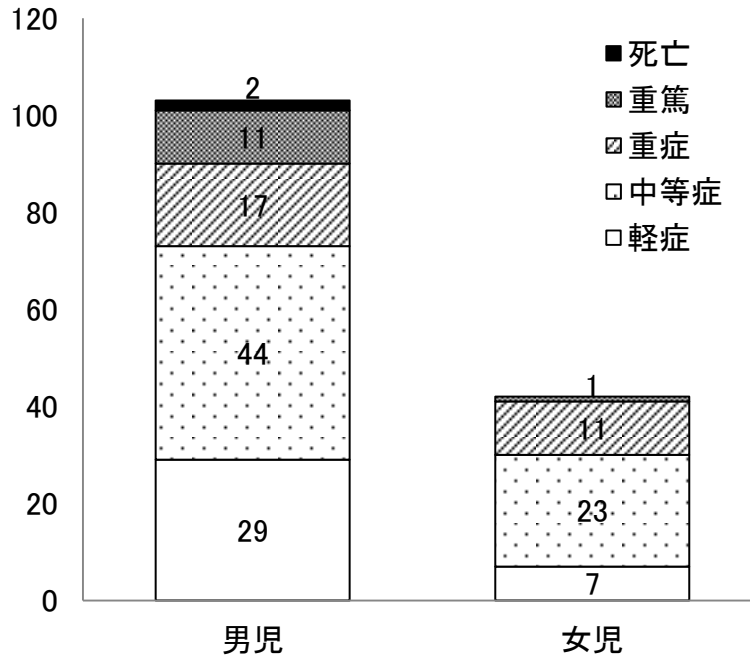


図 事故件数 (性別)

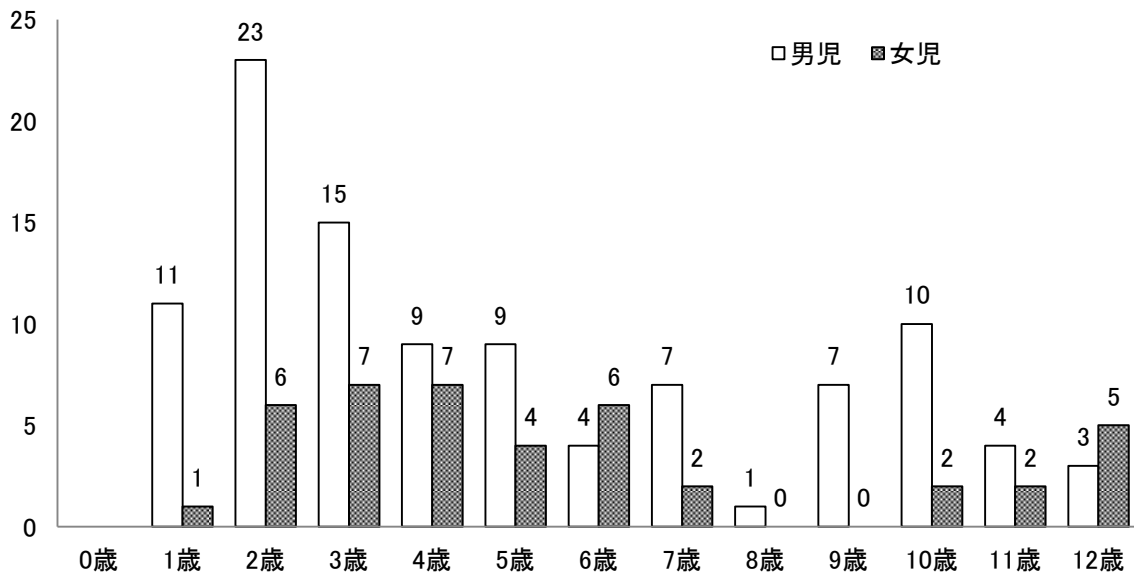


図 事故件数 (性別)

4 発生建物別事故件数

収集した 145 件の事故について、事故の発生した場所別にて分類した。発生場所が不明な事例が 21%あったが、住宅での発生が 75%であり、多くが住宅で事故が起きている。なお、その他は、学校、商業施設、宿泊施設、建設中の建物などであった。

また、その住宅の所有者の内訳をみると、自宅が過半数を占めているが、祖父母などの親族宅や友人宅で発生している事例もあった。

表 事故件数（建物の種類）

	(内訳)危害の程度					件数	割合
	軽症	中等症	重症	重篤	死亡		
住宅	25	54	20	8	2	109	75%
その他	2	1	2	1	0	6	4%
不明	9	12	6	3	0	30	21%
合計	36	67	28	12	2	145	100%

表 事故件数（住宅の所有者別）

	(内訳)危害の程度					件数	割合
	軽症	中等症	重症	重篤	死亡		
自宅	18	40	13	3	1	75	69%
親族宅	1	3				4	4%
友人宅	1	1				2	2%
不明	5	10	7	5	1	28	26%
合計	25	54	20	8	2	109	100%

5 発生階別事故件数

収集した 145 件の事故について、発生階別に分類した。2 階からの転落が最も多く、全体の過半数を占めている。また発生階が高層になるほど、危害は重くなっているが、2 階からの転落でも入院を要する危害が 7 割近く起きている。

なお、発生階 7 階の軽症の事例は、6 階屋根に落ちた事例であった。また、発生階 13 階の中等症の事例は、12 階ベランダに落ちた事例であった。

表 事故件数（発生階）

発生階	危害の程度					合計	割合
	軽症	中等症	重症	重篤	死亡		
1 階	2	0	0	0	0	2	1 %
2 階	26	40	11	2	0	79	54 %
3 階	4	15	8	1	0	28	19 %
4 階	1	4	2	0	0	7	5 %
5 階	0	0	1	0	0	1	1 %
6 階	0	0	0	1	0	1	1 %
7 階	1	0	1	1	0	3	2 %
8 階	0	0	1	0	0	1	1 %
9 階	0	0	0	0	0	0	0 %
10 階	0	0	0	0	0	0	0 %
11 階	0	0	0	0	0	0	0 %
12 階	0	0	0	0	0	0	0 %
13 階	0	1	0	0	0	1	1 %
14 階	0	0	0	1	0	1	1 %
不明	2	7	4	6	2	21	14 %
合計	36	67	28	12	2	145	100 %

発生階が明記されていない事例については、以下のように分類した。

※高さ 30 c m～60 c m と記載あるものは「1 階」に分類した。

※高さ 3 m～4 m と記載あるものは「2 階」に分類した。

※高さ 6 m と記載あるものは「3 階」に分類した。

※発生階及び高さが不明の事例は、「不明」に分類した。

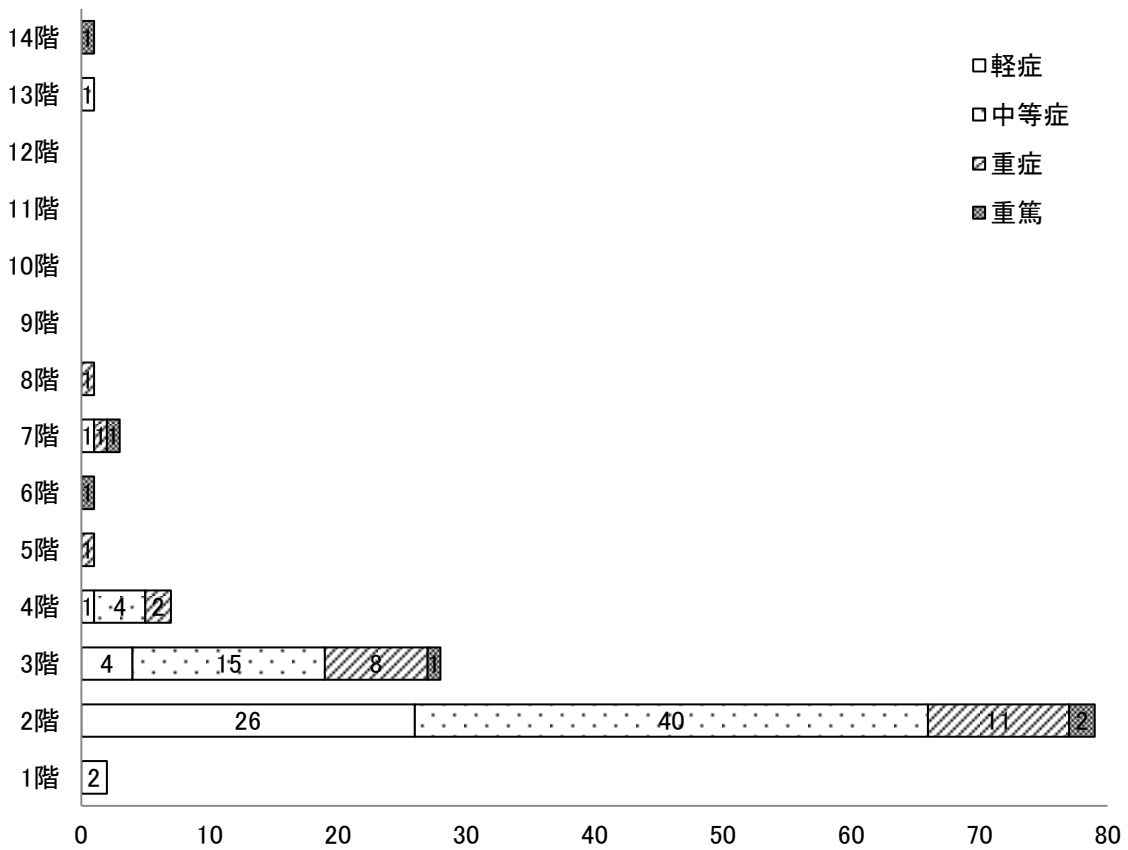


図 事故件数（発生階）※不明 21 件除いた 124 件

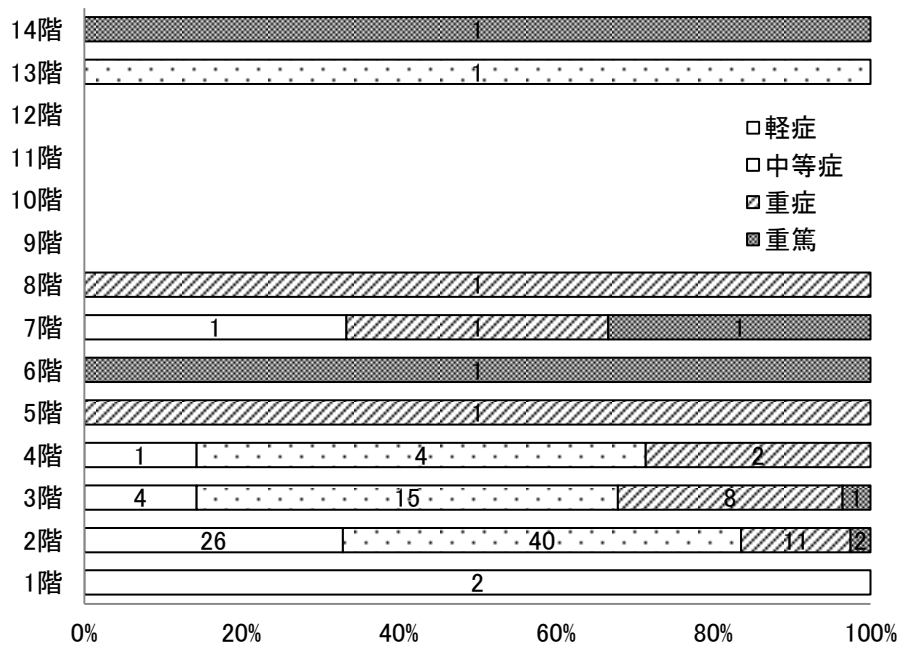


図 事故件数（発生階・危害の程度別割合）※不明 21 件除いた 124 件

第3 事故の発生状況の分析

1 事故につながる動作

収集した 145 件の事故について、事故につながる動作別「手すりなどがなくて落ちる」、「手すりの上を越える」、「手すりを押し倒す（強度不足）」、「手すりなどの隙間をすり抜ける」、「不明」に分類した⁴。

事故発生現場を目撃している事例は少なく、どのようにベランダ等から転落したか不明な事例が多かった。事象がわかった 26 件の事例では、「手すりの上を越える」が 23 件で最も多かった。

表 事故件数（事故につながる動作）

年齢	事故につながる動作					件数
	手すりの上を越える	手すりなどがなく落ちる	手すりなどの隙間をすり抜ける	手すりを押し倒す（強度不足）	不明	
0 歳	0	0	0	0	0	0
1 歳	0	1	0	0	11	12
2 歳	7	0	1	0	21	29
3 歳	1	1	0	0	20	22
4 歳	1	0	0	0	15	16
5 歳	3	0	0	0	10	13
6 歳	1	0	0	0	9	10
7 歳	1	0	0	0	8	9
8 歳	1	0	0	0	0	1
9 歳	1	0	0	0	6	7
10 歳	3	0	0	0	9	12
11 歳	2	0	0	0	4	6
12 歳	2	0	0	0	6	8
合計	23	2	1	0	119	145

⁴ 建物事故予防ナレッジベース（国土交通省国土技術総合研究所）の事故パターンを参考に分類した。

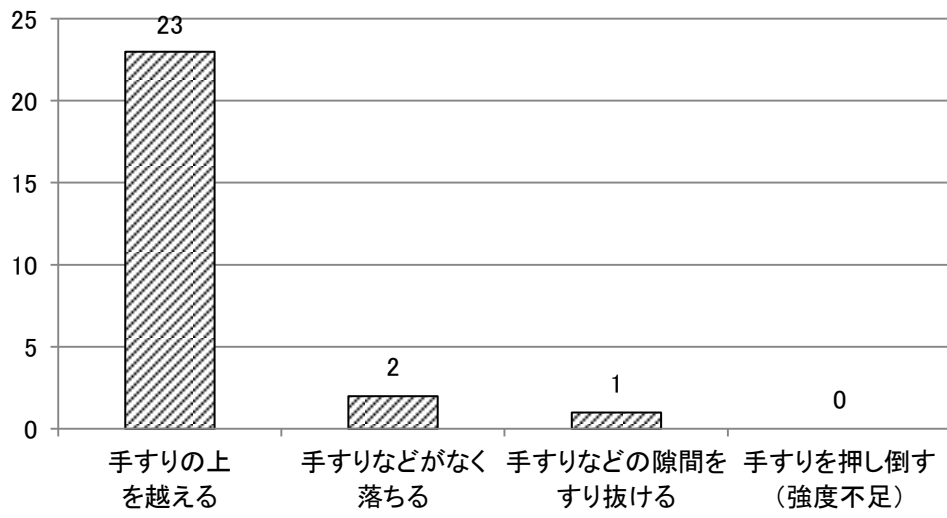


図 事故件数 (事故につながる動作)

(1) 手すりの上を越える

「手すりの上を越える」事例は 23 件を、事故のきっかけ別に分類した。「足がかりとなるものを置く」が 7 件と最も多く、低年齢の子供に見られた。「手すりにもたれ掛かる」は 4 件、「手すりの上に腰を掛ける」及び「故意に乗り越える」は各 3 件で、高年齢の子供に多く見られた。事例には、手すりの高さや形状がわかる情報がなく、「低い手すり・柵・腰壁など」、「足がかりとなる形状」は 0 件であり、「不明」は 6 件あった。

表 事故件数（手すりの上を越える（事故のきっかけ））

年齢	手すりの上を越える(事故のきっかけ)								件数
	足がかりとなるものを置く	手すりにもたれ掛かる	手すりの上に腰掛ける	故意に乗り越える	低い手すり・柵・腰壁など	足がかりとなる形状	手すりです遊ぶ	不明	
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 歳	6	0	0	0	0	0	0	1	7
3 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
4 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5 歳	1	1	0	0	0	0	0	1	3
6 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
7 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8 歳	0	0	1	0	0	0	0	0	1
9 歳	0	1	0	0	0	0	0	0	1
10 歳	0	1	0	2	0	0	0	0	3
11 歳	0	0	2	0	0	0	0	0	2
12 歳	0	1	0	1	0	0	0	0	2
合計	7	4	3	3	0	0	0	6	23

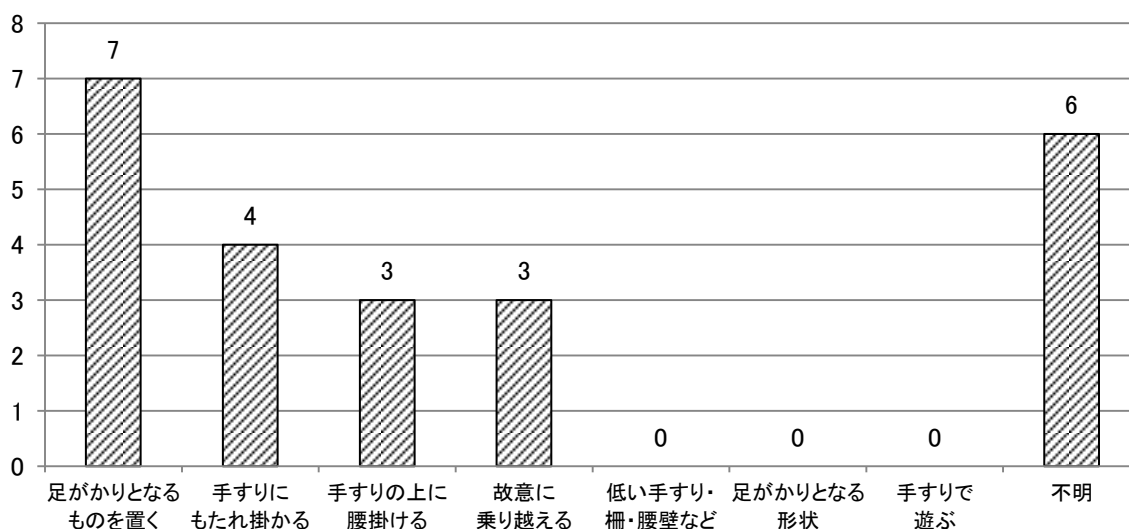


図 事故件数（手すりの上を越える（事故のきっかけ））

ア 足がかりとなるものを置く

「足がかりとなるものを置く」ことで、「手すりを乗り越えた」事例について、何が置いてあったか集計した。室外機が最も多く4件であった。

また、「事故につながる動作」が「不明」な事例で、ベランダにプランターが置いてあった事例が1件あった。

表 足がかりとなるもの

足がかりとなるものを置く					件数
室外機	物干し台	布団	台	プランター	
4	1	1	1	1	8

<事例：手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：室外機）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医) 5	2014	5歳 8か月	中等症	自宅3階寝室で、保護者と入眠の準備をしていた。双子の兄弟がいて、その子が眠そうにしていたので保護者が隣の部屋で寝かしつけるため児のそばを離れていた間の事故。外で「ドスン」という音がして、自宅前の路上を確認すると、倒れている児を発見した。普段は窓を3重にロックしているが、その日は1重で、それは児が自分で開けられるようになっていたので、開けてベランダにでてしまった模様。室外機の上に乗っかり、そのまま下に転落した。（入院見込み日数：約6日間）

5 「(医)」は医療機関ネットワーク情報受診事例を指す。以下同様。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
2 (医)	2011	2歳0か月	重症	自宅（マンション2階）にて。兄姉（3歳）は室内で遊び、兄も遊んでいたはず。保護者は流しのところで作業していた。保護者が気づくと窓が明けられ、室外機のところに兄のスリッパがあり、兄はベランダの下に立って泣いていた（2-3m下）。兄が落ちていたのは広めの歩道で、その脇には大きな道路がある。よく救急車や消防車が通るので、それを見ていて室外機によじ登ったのかもしれない。ただし今までこんなことはなかった。ベランダへ出る場所には鍵もあり、ガムテープを二重にはっていた。（入院見込み日数：約32日間）
3 (医)	2011	2歳2か月	中等症	兄がベランダで遊んでいた。保護者は台所にいた。音がしたためベランダを見ると、兄がおらず、ベランダの下に兄がうつぶせに倒れて泣いていた。ベランダの高さは約3.5m。地面は土。保護者はこれまでもベランダへ出入りして室外機に上っているところを何度か見ている。
4 (東) 6	2007	2歳	軽症	4階のベランダの室外機に乗り、地面まで転落し、泣いていた。全身打撲。

<事例：手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：物干し台）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2011	2歳5か月	軽症	自宅ベランダで遊んでいた所は保護者が確認している。その後、ベランダ下のひさしに落下した模様（高さ2m）。落ちたところの目撃者はなし。音に気付いた保護者が駆け付けると立位で泣いていた。 築50~60年の家で2階に今風のベランダとは違う、物干し台がありそこで保護者と遊んでいた。エアコンの室外機や踏み台はなかったが物干し台が木材で作られていて手すりまでが横格子になっていて梯子のようになっており兄はそれを上って手すりにお腹を乗せていた（鉄棒の前転する前の状態）。保護者がちょっと目を離れた隙に転落した。転落した時の目撃者はいないが、物干し台から前転して一階の屋根に落ちて（約120cm）ゴロゴロ転がり（保護者が音を確認）地面のコンクリートに落ちた模様。（入院見込み日数：約3日間）

<事例：手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：布団）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (東)	2007	2歳	中等症	2階のベランダで兄妹3人であり、干してあった布団に妹がよじ登った際に兄が妹をくすぐり布団と一緒に約4mの下の地面に転落した。

6 「(東)」は東京消防庁救急搬送事例を示す。以下同様。

<事例：手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：台）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2015	2歳 9か月	軽症	自宅の2階のベランダで台に乗って遊んでいたところ、ベランダの柵を飛び越えて転落した。下はコンクリート。

<事例：不明（足がかりとなるもの：プランター）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2011	3歳 8か月	中等症	親族の自宅2階ベランダから転落し、頭部を骨折した。目撃者なし。地面コンクリート。プランターが壊れていた。

イ 手すりにもたれ掛かる

収集した145件の事故について、「手すりにもたれ掛かる」事例は、4件だった。

<事例：手すりの上を越える（手すりにもたれ掛かる）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2015	5歳 0か月	中等症	親族を見送るために、ベランダの手すりに鉄棒の前回りの時のようにつかまっていて、前のめりに、1階の自転車置き場へ落ちた。下はコンクリート。
2 (医)	2011	10歳 8か月	中等症	星を2階のベランダで見ている、乗り出した際に5mの高さから転落した。（入院見込み日数：約14日間）
3 (東)	2009	9歳	中等症	親族宅3階のバルコニーのフェンスに登り、下を覗き込んだところ頭の重みでそのままフェンスの外に転落した。ちょうど2階の高さほどの給湯器の上に転落した。
4 (東)	2015	12歳	重篤	中学校校舎2階のベランダで、手すりに上半身をもたれかけて足をぶらぶらさせていたところ、勢い余って地面（性状：コンクリート）に転落（高さ約5m）したため救急要請となった。

ウ 手すりの上に腰を掛ける

収集した 145 件の事故について、「手すりの上に腰を掛ける」事例は、3 件だった。

<事例：手すりの上を越える（手すりの上に腰を掛ける）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2012	11 歳 4 か月	中等症	自宅にて。児が 3 階ベランダで柵（1 m 位）をまたぐように座り、馬乗りになった状態で敷き布団を干していた。落ちそうになり、手で柵をつかみ損ねて転落した。2 階のベランダの柵に左の腰をぶつけて、転落した。地面は土と玉砂利。どんという音があり、保護者が家からでてきて救急搬送となった。転落時、保護者と弟妹は 2 階におり、3 階にいたのは児のみだった。布団干しはいつも自分でしており、特に頼まれたわけではない。いつも柵に馬乗りになって干している。また、布団干しの際は、下に落とさないように眼鏡を外していた。（入院見込み日数：約 8 日間）
2 (東)	2014	11 歳	中等症	ベランダの外枠部分に座っていた。ベランダへ戻ろうと体勢を変えた際、体勢を崩し 1 階地上部へ転落し動けなくなってしまった。
3 (東)	2014	8 歳	中等症	自宅共同住宅 2 階ベランダ手すりに座っていたところ何らかの原因で屋外 1 階コンクリート地面に落ち受傷、救急要請した。

エ 故意に乗り越える

収集した 145 件の事故について、「故意に乗り越える」事例は、3 件だった。

<事例：手すりの上を越える（故意に乗り越える）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2016	10 歳 8 か月	中等症	落とされたペットボトルを拾おうとして、マンション 2 階の柵を乗り越え、1 階ひさしの上に着地した。ひさしがガラスだったため割れて、そのまま地下 1 階まで転落した。（入院見込み日数：約 5 日間）
2 (医)	2011	12 歳 9 か月	中等症	小学校の 2 階の教室のベランダで、児が柵の向こう側に落とされた眼鏡を拾おうとして、柵を乗り越えたときに誤って転落した。着地した地面は、土と芝生。
3 (東)	2013	9 歳	中等症	自宅の屋根に上ろうと、地上約 3 m ほどの 2 階ベランダの手すり部分に乗ったところ、足を滑らせ地上の土の部分に足部から転落し右足関節部を受傷し救急要請。

オ どのように「手すりの上を乗り越えた」か詳細不明な事例

<事例：手すりの上を越える（詳細不明）>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(医)	2014	4歳 10か月	中等症	2階ベランダの柵を乗り越えて転落した。下はコンクリート。(入院見込み日数：約9日間)
2(東)	2008	5歳	中等症	団地3階のベランダから手すりを乗り越えて地上に飛び降りた。探していた保護者が地上で泣いていたのを発見し、救急要請した。
3(東)	2009	2歳	重篤	子供がマンション上階のベランダを乗り越えようとしているのに気づき、近くの店に知らせた後、子供が歩道に転落したため救急要請した。
4(東)	2009	6歳	中等症	親族宅の2階ベランダから身を乗り出していた際、誤って転落したため救急要請した。
5(東)	2016	7歳	重症	自宅2階のベランダで遊んでいた子供がコンクリートの手すりを乗り越えてしまい、アスファルトの駐車場上へ転落し受傷した。
6(東)	2016	3歳	軽症	自宅2階のベランダから身を乗り出した時、地上に落下してしまった。隣人が目撃し保護者に連絡したことから、救急要請となった。

(2) 手すりなどがなくて落ちる

収集した145件の事故について、「手すりなどがなくて落ちる」事例は、2件だった。うち1件は建設中の建物で手すりがまだできていない状態、もう1件は住宅であるが通常人が出入りするベランダであるかどうかは不明。

<事例：手すりなどがなくて落ちる>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(東)	2010	3歳	軽症	建築中の建物の2階ベランダ(建築中のためベランダがまだ出来てない)から2m墜落し足場に転落し救急要請。
2(東)	2011	1歳	軽症	自宅2階のベランダ(周囲に柵のない)約3.5mの高さから転落した。音で気付いた保護者が発見し救急要請した。(ベランダから2.5m下の犬小屋に落ちてから下のコンクリに落ちたような音がした。)

(3) 手すりなどの隙間をすり抜ける

収集した 145 件の事故について、「手すりなどの隙間をすり抜ける」で転落事故に至ったものは、1 件だった。

<事例：手すりなどの隙間をすり抜ける>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (医)	2015	2歳 6か月	軽症	テナントの入っている 2 階のベランダ約 3～4 m の高さから転落した。下はコンクリートだった。ベランダの柵の間をすり抜けて、転落してしまった様子。

(4) 手すりを押し倒す (強度不足)

収集した 145 件の事故については、「手すりを押し倒す (強度不足)」で転落事故に至ったものは見受けられなかった。

2 事故発生直前の子供の行動

収集した 145 件の事故について、事故発生直前の子供の行動別に分類した。不明な事例が 104 件と多く、事象がわかった 41 件について集計した。

「ベランダで遊んでいた」事例が最も多く 15 件あり、低年齢の子供にも高年齢の子供にも見られる。次いで、「別室にいたが、子供が一人でベランダに出た」は 14 件あり、比較的 low 年齢の子供に多くみられる。また、「ベランダから外に出ようとした（下に降りる、物を拾うなど）」事例は高年齢の子供に見られる。「ベランダから景色や空を眺めていた」「下を覗き込もうとした」「ベランダから見送りをしていた」「布団を干していた」事例はそれぞれ数件あり、比較的高年齢の子供に見られた。

表 事故件数（子供の直前の行動）

年齢	子供の直前の行動								件数
	ベランダから景色や空を眺めていた	下を覗き込もうとした	ベランダから見送りをしていた	布団を干していた	ベランダで遊んでいた	別室にいたが、子供が一人でベランダに出た	ベランダから外に出ようとした（下に降りる、物を拾う）	不明	
0 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 歳	0	0	0	0	2	0	0	10	12
2 歳	0	0	0	0	7	4	0	18	29
3 歳	0	0	0	0	0	3	0	19	22
4 歳	0	0	0	0	0	3	0	13	16
5 歳	0	0	1	0	0	2	0	10	13
6 歳	0	0	0	0	0	1	1	8	10
7 歳	0	0	0	0	1	0	1	7	9
8 歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1
9 歳	0	1	0	0	0	0	0	6	7
10 歳	2	0	0	0	4	1	2	3	12
11 歳	0	0	0	2	1	0	0	3	6
12 歳	0	0	0	0	0	0	2	6	8
合計	2	1	1	2	15	14	6	104	145

事故発生直前の子供の行動が不明である 104 件を除いた 41 件について、事故につながる動作別に分類した。

表 事故件数（子供の直前の行動・事故パターン）

事故につながる動作	手すりの上を越える					不明	合計
	足がかりとなるものを置く	手すりにもたれ掛かる	手すりの上に腰を掛ける	故意に乗り越える	不明		
ベランダから景色や空を眺めていた	0	1	0	0	0	1	2
下を覗き込もうとした	0	1	0	0	0	0	1
ベランダから見送りをしていた	0	1	0	0	0	0	1
布団を干していた	0	0	1	0	0	1	2
ベランダで遊んでいた	4	0	0	0	1	10	15
別室にいたが、子供が一人でベランダに出た	2	0	0	0	0	12	14
ベランダから外に出ようとした	0	0	0	3	0	3	6
合計	6	3	1	3	1	27	41

(1) 「ベランダから景色や空を眺めていた」事例

ベランダから星を見ていて乗り出した際に転落した⁷。その他以下の事例があった。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1 (東)	2013	10 歳	軽症	自宅 2 階のベランダから外を眺めていて、目を離したすきに、地上へ転落したため、救急要請した。

⁷ 既出、手すりの上を越える（手すりにもたれ掛かる） 2（医）

(2) 「下を覗き込もうとした」事例

バルコニーのフェンスに登り、下を覗き込んだところ頭の重みでそのままフェンスの外に転落した⁸。

(3) 「ベランダから見送りをしていた」事例

親族を見送るために、ベランダの手すりに鉄棒の前回りの時のようにつかまっ
いて、前のめりに転落した⁹。

(4) 「布団を干していた」事例

柵をまたぐように座った状態で布団を干していたところ、バランスを崩して転落
した¹⁰。その他以下の事例があった。

NO.	事故 発生年	年齢	危害 程度	事故の内容
1 (東)	2012	11	重症	自宅3階のベランダにて、布団を干そうとした際に転落。頭部、腰部を受傷した。

(5) 「ベランダで遊んでいた」事例

台に乗って遊んでいたところ、柵を飛び越えた¹¹。ベランダで遊んでいて、物干し
台に登って手すりにお腹を載せていた¹²。ベランダで遊んでいて児が室外機に上がっ
ているところを何度か見た¹³。干してあった布団によじ登った際に、兄姉がくすぐり
転落した¹⁴。ベランダで遊んでいた子供が手すりを乗り越えた¹⁵。その他以下の事例
があった。

NO.	事故 発生年	年齢	危害 程度	事故の内容
1 (東)	2007	2歳	重症	団地3階の自宅ベランダで遊んでいた児の声がしなくなったので見に行くと、約6m下のベランダ下地面の土の上に児が倒れていた。
2 (東)	2007	10歳	中等症	遊んでいたところベランダから転落し背部を受傷した。
3 (東)	2007	10歳	中等症	自宅2階のベランダで遊んでいた児の姿が見えないのでマンション前の路上に出てみると、近くにある店舗まで血痕があり、店内に顔面から出血している児がいたため、2階から転落したものと思い救急要請した。
4 (東)	2008	11歳	軽症	2階ベランダにて遊戯中に誤って転落した。

⁸ 既出、手すりの上を越える（手すりにもたれ掛かる）3（東）

⁹ 既出、手すりの上を越える（手すりにもたれ掛かる）1（医）

¹⁰ 既出、手すりの上を越える（手すりに腰を掛ける）1（医）

¹¹ 既出、手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：台）1（医）

¹² 既出、手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：物干し台）1（医）

¹³ 既出、手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：室外機）3（医）

¹⁴ 既出、手すりの上を越える（足がかりとなるものを置く：布団）1（東）

¹⁵ 既出、手すりの上を越える（詳細不明）5（東）

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
5(東)	2008	2歳	軽症	2階のベランダで遊んでいた児が、誤って1階に転落した。
6(東)	2008	1歳	重症	ベランダで遊んでいるはずの児がアパート2階から高さ約5メートル下の地面に落下した。
7(東)	2009	10歳	中等症	友人宅のベランダで遊んでいたところ誤って1階(約3m)へ転落受傷した。
8(東)	2010	10歳	中等症	児が2階ベランダで飛び跳ねていたところ目を放した隙にベランダから転落したため、救急要請した。
9(東)	2010	2歳	中等症	マンション13階の自宅ベランダで遊んでいた。12階のベランダに転落したとのことで一緒に遊んでいた兄姉が保護者を呼びに言った。傷病者は12階ベランダで仰臥位でおり泣いていた。それから自宅で様子を見ていたが、傷病者を自宅で抱いていたところ突然嘔吐し、いつもより元気がないため救急要請した。
10(東)	2015	1歳	中等症	児が自宅2階ベランダで遊んでいた。物音と泣き声があったため、付近を確認すると隣家の庭に倒れている児を発見し家族より救急要請となった。

(6) 「別室にいたが、子供が一人でベランダに出た」事例

普段は3重に施錠しているが、その日は1重で子供が自分開けられるようになっていた¹⁶。兄姉と室内で遊んでいたはずが、気が付くと窓が開けられ、室外機のところに子供のスリッパがあった¹⁷。その他以下の事例があった。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(東)	2009	6歳	中等症	自宅である3階で寝ていたはずの児が、屋外にいたものを同じ社宅に居住している住人が発見。3階の自宅ベランダから転落した疑いがあり発見してくれた住人が救急要請した。
2(東)	2010	4歳	死亡	朝風呂に入れ終わった後、居室で身体をタオルで拭いていた。目を離した隙に、部屋から姿が見えなくなった。部屋中を探したが見つからず、ベランダに出て周囲を確認したところ、1階の駐車場に倒れているのを発見した。
3(東)	2011	3歳	重篤	マンション7階自宅ベランダ側のサッシが開いていたので下を見たところ1階地上に児の姿が確認できたので転落したと思い救急要請。
4(東)	2011	2歳	中等症	児が自宅玄関の鍵を内側からかけてしまい、保護者が外に締め出しになったため鍵を別階に取りに行っている間に、4階自宅ベランダから2階ベランダへ転落した模様。
5(東)	2011	2歳	重症	児がいないことに気付いた保護者が2階のベランダから外を見たら、児が口から血を流して泣いていたために救急要請。

¹⁶ 既出、手すりの上を越える(足がかりとなるものを置く: 室外機) 1(医)

¹⁷ 既出、手すりの上を越える(足がかりとなるものを置く: 室外機) 2(医)

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
6(東)	2012	3歳	重症	児を家において1階のゴミ捨て場にゴミを捨てに行った。帰って来たところで家に児がおらず、外を探しに行くと児の泣き声して、ベランダ下で倒れていたため、5階ベランダから転落した可能性があり119番通報した。
7(東)	2012	4歳	中等症	保護者が自宅2階ベランダから児が転落した可能性が強いということで救急要請された。(直接転落したところは確認していないが、2階にいたはずの児が1階から階段を上がってきて背中に傷があった。また、1階にあった自転車が倒れていた。)
8(東)	2012	10歳	中等症	部屋にいたはずの児が、玄関から入ってきたため、保護者は目を離した隙に、団地2階のベランダより地上に転落したかもしれない、とのことから救急要請となった。
9(東)	2013	3歳	中等症	自宅マンション3階居室内で昼寝していた児がいなくなったため、ベランダ越しに下を覗いたところマンション1階玄関エントランスの陸屋根部分(約5mの高さ)へ墜落し坐り込んでいた児を発見、住人が救急相談センター相談後に救急要請となった。
10(東)	2014	2歳	中等症	自宅2階にいたところ庭先からドスンと物音がした。部屋で遊んでいた児がいないためベランダから庭を見ていると、児が倒れていたため119番通報した。
11(東)	2014	5歳	重症	児はベランダに接している自宅3階の寝室にて休んでいた。救急要請する数分前に一緒にいた保護者が一旦寝室を退室。直後に自宅前の路上にて「ドスン」と大きな音がしたため路上を確認したところ傷病者が腹臥位にて倒れているのを保護者が発見。ベランダ部分から地上部分(高さ約7~8m)へ転落したと思い、保護者が救急要請した。
12(東)	2015	4歳	重症	寝かしつけたはずの児が就寝している部屋の電気が点いていることに気が付き様子を見に行くと、居室内にはおらず、約7m下の2階ベランダで泣いていたため救急要請となった。

(7) 「ベランダから外に出ようとした」事例

落としたペットボトルを拾おうとして、マンション2階柵を乗り越えた¹⁸。柵の向こう側に落とした眼鏡を拾おうとして、柵を乗り越えた¹⁹。屋根に登ろうとベランダの手すりに乗ったところ、足を滑らせた²⁰。その他以下の事例があった。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(医)	2014	7歳3か月	中等症	家2階の高さ3mのベランダからつたって下に降りようとして転落した。地面はコンクリート。(入院見込み日数：約2日間)

¹⁸ 既出、手すりの上を越える(故意に乗り越える) 1(医)

¹⁹ 既出、手すりの上を越える(故意に乗り越える) 2(医)

²⁰ 既出、手すりの上を越える(故意に乗り越える) 3(東)

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
2(東)	2007	6歳	軽症	吐責された児が感情的になり衝動的に2階のベランダから飛び降りた。
3(東)	2015	12歳	軽症	保護者に怒られたため、2階ベランダ部分から逃げようと飛び降り受傷した。

3 その他詳細が不明な事例

<事例：詳細不明>

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(医)	2016	3歳 10か月	中等症	自宅マンション4階のベランダから墜落した疑い。エントランス付近で近所の男性に保護され、外傷があったため、救急要請された。(18日間入院)
2(医)	2016	10歳 0か月	中等症	インフルエンザB型でタミフルを処方していた。就寝前に発熱があった。気が付いたら3階ベランダの手すりにぶら下がっていた。
3(医)	2015	3歳 11か月	中等症	自宅2階のベランダから転落した。落ちたところはコンクリートでうつぶせになっていた。
4(医)	2015	2歳 2か月	軽症	自宅のベランダから転落した。ベランダは60cmの高さ。保護者が目を離した隙に転落した模様。
5(医)	2015	1歳 8か月	軽症	高さ50cmのベランダからコンクリートに転落した。
6(医)	2014	7歳 3か月	中等症	家2階の高さ3mのベランダからつたつて下に降りようとし転落した。地面はコンクリート。(入院見込み日数：約2日間)
7(医)	2011	3歳 8か月	中等症	親族の自宅2階ベランダから転落し、頭部を骨折した。目撃者なし。地面コンクリート。プランター壊れていた。
8(東)	2007	3歳	中等症	3階自宅ベランダから誤って転落した。
9(東)	2007	7歳	中等症	マンション3階のベランダ手すりから転落した。
10(東)	2007	3歳	中等症	自宅の2階ベランダから誤って転落(5m)受傷した。地面は土に砂利をひいたもの。
11(東)	2007	10歳	中等症	3階のベランダから墜落し腰部を受傷した。
12(東)	2007	3歳	軽症	3階自宅ベランダから2階隣屋根に転落受傷した。
13(東)	2007	9歳	中等症	先天性心疾患及び知的障害のある児が自宅2階のベランダからアスファルト路上に転落した。
14(東)	2007	6歳	重症	集合住宅4階のベランダから児が転落し受傷した。
15(東)	2007	1歳	重症	2階ベランダから転落し受傷した。
16(東)	2007	2歳	軽症	2階ベランダから転落。頭部及び顔面を受傷した。
17(東)	2008	3歳	中等症	住宅2階のベランダに1人で出ているところ、階下で物音がしたため、保護者が様子を見に行ったところ、1階のエアコン室外機上に転落しているのを発見し、救急要請した。
18(東)	2008	12歳	重篤	14階自宅ベランダから転落した模様。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
19(東)	2008	3歳	中等症	自宅2階ベランダから転落し顔面が蒼白となっていたため要請。
20(東)	2008	9歳	中等症	4階自宅ベランダから誤って路上に転落した。
21(東)	2008	1歳	軽症	自宅2階ベランダから1階の庭に転落した(高さ約4m)。
22(東)	2008	9歳	重症	近所に住む児が、住宅2階のベランダから1階の庭(コンクリート)に転落したようなので救急要請した。
23(東)	2008	2歳	軽症	自宅ベランダ約3m下の地面に転落した模様で、泣いているのに気付く救急要請した。
24(東)	2008	2歳	中等症	自宅3階ベランダから墜落した。
25(東)	2008	2歳	軽症	保護者の実家で2階のベランダから屋根に転落、さらに屋根を転がり地上に転落し受傷した。
26(東)	2009	2歳	中等症	自宅ベランダ(約6m)から転落し、乗用車の上に転落したものと推定。
27(東)	2009	3歳	中等症	自宅2階ベランダ部分より転落し全身打撲をした。
28(東)	2009	4歳	軽症	自宅の部屋で洗濯物を畳んでいたところ、家の外にいた兄姉より「弟妹が家のベランダから落ちてしまった。」との知らせがあったため見に行ったところ、児が頭から血を流していたことから救急要請した。
29(東)	2009	4歳	軽症	マンション3階のベランダから、隣のビルの2階陸屋根部分に飛び降りて右足の痛みを訴えているので要請した。
30(東)	2009	6歳	軽症	アパート2階の自宅ベランダから転落し受傷した。
31(東)	2009	3歳	軽症	2階ベランダより車庫の屋根の上に誤って転落した(高さ約2.5m)。
32(東)	2009	12歳	中等症	自宅2階のベランダから誤って落ち、下にあった柵に背中をぶつけた。
33(東)	2009	11歳	中等症	2階ベランダ(高さ約5m)から転落し腰部の痛みを訴え動けないため救急要請した。
34(東)	2009	2歳	中等症	自宅2階のベランダから誤って外の砂利の上に転落した。
35(東)	2010	4歳	重症	児を8階の自宅マンションベランダに出していたところ、姿が見えなくなったので探したら、1階で泣きながら歩いていたので、8階から転落したと思い、救急要請した。
36(東)	2010	1歳	重症	3階自宅にいたところ、ベランダから児が転落したようだとの連絡を下階の住民から受け、ベランダから外を覗いたところ児が地面に倒れていた。自宅に連れ戻った後、救急要請。
37(東)	2010	2歳	中等症	自宅アパートの2階ベランダ部分から転落し受傷したため要請した。
38(東)	2010	5歳	中等症	自宅2階ベランダ(高さ約3m)から落下し、コンクリートの玄関前に座っていたのを保護者が発見し救急要請した。鈍い音で保護者が気付いた。
39(東)	2010	5歳	中等症	2階ベランダ(5m)から、自転車の上に転落した。
40(東)	2010	4歳	中等症	自宅3階ベランダから転落し足部を受傷し、救急要請した。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
41(東)	2010	12歳	重症	帰宅したところ児が顔面を受傷していた。問いただしたところ、自宅3階のベランダから地上に落ちたとのことであったため要請した。
42(東)	2010	5歳	軽症	友人宅3階のベランダ手すりにぶら下がっていたところ、誤って1階のひさし(コンクリート)に転落した。(落差約3メートル)
43(東)	2011	12歳	重症	児が校舎2階のベランダから誤って転落して臀部が痛い歩いてきたため、救急要請した。
44(東)	2011	11歳	重症	保護者が眼を離した隙にダウン症の児がホテル内で居なくなった。ホテル3階地上階にある店舗の客が上から黒いものが落ちてくるのを見た店舗の従業員に伝え、従業員が高さ約10mの壁の前で倒れている児を発見し、救急要請をした。
45(東)	2011	4歳	中等症	弟妹が2階のベランダから誤って転落してしまった、と兄姉から知らされたため、救急要請した。
46(東)	2011	3歳	軽症	自宅2階のベランダから1階の砂利の庭に転落した。一時布団で寝かせて様子を見ていたが、起床後自力で立ち上がれず痛そうな顔をしていたため救急要請した。
47(東)	2011	3歳	重篤	階層不明なるも建物から児が転落した。発見者によると、3階居室にいたところ外からドスンと大きな音が聞こえ、ベランダ下を見たら児が倒れていたとのこと。
48(東)	2012	9歳	中等症	児が自宅2階ベランダから転落し、自転車置き場の塩ビ屋根を突き破り、自転車と地面に転落、それを発見した家族が救急要請した。
49(東)	2012	6歳	軽症	戸建住宅2階ベランダ部分より1階の庭へ転落したため救急要請となった。
50(東)	2012	1歳	重症	保護者が「児が転落した救急車を呼んで欲しい。」と言う叫び声が聞こえたため救急要請した。
51(東)	2012	3歳	重症	児が自宅の3階ベランダから2階のベランダまで落ちてしまい左足を痛がっていた。
52(東)	2012	7歳	中等症	自宅のベランダから転落しているのを保護者が発見し救急要請した。(傷病者は、風邪で発熱があり就寝中に怖い声が聞こえたあとベランダ下に転落していたとの談)
53(東)	2012	6歳	軽症	所要のため、屋外に出ると2軒隣の2階ベランダ手すり部分に児がぶら下がっているのを目撃、暫らくすると転落したので、救急要請した。
54(東)	2012	3歳	重症	スポーツクラブスタッフがクラブハウスの通用口の外側で「ドスン」という大きな物音を聞きつけ確認しに行ったところ、児が腹臥位で倒れ泣いているのを発見。クラブスタッフは建物ベランダから陸屋根を転がり地上へ転落し受傷したものと判断し救急要請した。
55(東)	2013	10歳	中等症	児が誤って自宅3階ベランダから転落した。通りかかった警察官からの救急要請となった。
56(東)	2013	2歳	中等症	自宅2階のベランダから転落し救急要請となった。
57(東)	2013	2歳	軽症	傷病者男児は、自宅の2階ベランダから転落したため、家族が救急要請した。
58(東)	2013	1歳	重篤	3階ベランダ(高さ5.7m)から地上(コンクリート)に転落し、救急要請となった。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
59(東)	2013	12歳	重症	自宅3階ベランダから隣家敷地(1階)に転落。傷病者帰宅後、家族が病院を探すも決まらないことから、救急要請。
60(東)	2013	1歳	重症	路上を歩いていると、児が住宅2階のベランダから地上に転落したのを目撃し救急要請した。
61(東)	2013	7歳	重症	外から物音がしたので見に行くと、2階ベランダにいたはずの児が道路上に倒れていたため、保護者が救急要請した。
62(東)	2013	5歳	軽症	7階ベランダから6階陸屋根に転落(約3m)した児を目撃、警察に通報し救急要請に至った。
63(東)	2013	2歳	軽症	路上で泣いている児を発見した通行人が近くの交番へ連れて行った。児を捜していた保護者が交番に駆け付け、保護者の談から自宅2階から転落したらしいとのこと警察官が救急要請した。
64(東)	2013	6歳	中等症	一般住宅2階のベランダ部分から地上のアスファルトへ転落、付近の地上部分にいた工事作業員が発見し救急要請した。
65(東)	2013	5歳	中等症	児の泣き声が聞こえたため玄関先に出てみると、頭部の痛みを訴え泣いている状態。転落は目撃していないが、高さ約3.5mの高さのバルコニーから転落した可能性があり、救急相談センターに相談、センターより救急要請となった。
66(東)	2014	7歳	軽症	家族全員が2階リビングで休んでいたところ、詳細な事故概要は不明であるが、自宅2階ベランダから地上部分に転落したと本人の申し出があり、顔面を受傷していたため救急要請。本人は2階リビング間で自力歩行で上がって来た。
67(東)	2014	2歳	中等症	児が2階ベランダにぶら下がっているのを発見し、駆けつけたところ、1階ベランダに倒れていたため救急要請した。
68(東)	2014	1歳	中等症	屋外から「ガチャン!」というような物音がしたため1階にいた保護者が様子を見に行くと、親族とともに2階のベランダにいたはずの児がベランダ直下の地面に四つん這いになって泣いているのを発見。ベランダから転落したものと思い、救急相談センターに連絡し、相談結果、救急要請となった。
69(東)	2014	4歳	死亡	自宅マンション敷地内の地面に児が倒れているのを通行人が発見し救急要請したもの。
70(東)	2014	4歳	重症	自宅建物の4階部分(転落からの高さは3階部分)から誤って転落した。
71(東)	2014	3歳	重篤	児がベランダから地上に転落した。
72(東)	2014	1歳	中等症	児が自宅2階のベランダから地面に転落したため、目撃していた保護者から救急要請された。
73(東)	2014	7歳	重症	自宅2階のベランダから高さ約4mの地面に誤って転落し受傷。その後自力歩行にて親族宅に駆け込んだ。
74(東)	2014	9歳	重症	児は、自宅3階ベランダから転落し、受傷したため保護者が救急要請した。
75(東)	2015	3歳	重篤	傷病者がマンション6階ベランダから転落するところを通行人が目撃し、救急要請した。
76(東)	2015	7歳	軽症	自宅3階ベランダ部分から転落、受傷した。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
77(東)	2015	4歳	重篤	共同住宅敷地内の屋外において、腹臥位の状態で倒れている児を発見した通行人が救急要請した。
78(東)	2015	4歳	重篤	高所から転落の様態とコンビニエンスストア店員からの救急要請。
79(東)	2015	5歳	重症	2階ベランダ部分にいた児がいなくなっており、1階から泣き声が聞こえることに気付いた保護者が1階の庭に見に行くと、庭に座り、頭から出血している児を発見、救急要請した。
80(東)	2015	5歳	中等症	児が施設3階にある自宅3階のベランダから1階厚生館敷地内に転落したのを施設職員が発見し救急要請した。
81(東)	2015	9歳	軽症	児が、保護者と口論になり2階のベランダ(約4mの高さ)から転落し受傷。しばらく様子を見ていたが腰部の痛みが改善せず、救急相談センターに相談後、救急要請となった。
82(東)	2015	2歳	軽症	自宅マンションのベランダから転落し受傷したため、保護者が救急要請した。
83(東)	2015	2歳	中等症	マンション3階居住者がベランダ下庭の散歩道で泣いている傷病者を見、顔面に怪我をしているので救急要請した。
84(東)	2015	5歳	重症	大きな物音を聞いたマンション1階の飲食店職員は、マンション脇に7階に居住する児が倒れていたため、転落したものと判断し救急要請となった。
85(東)	2016	3歳	重篤	児が屋外住宅玄関先コンクリート上で血を流し倒れているのを通行人が発見。110番通報となった。
86(東)	2016	7歳	軽症	児が、保護者実家の2階ベランダから転落し、地面に倒れているのを発見した家族による救急要請。
87(東)	2016	4歳	中等症	高さ約3mの自宅2階ベランダから土面の庭に転落。ドンという音で気付いた保護者が、庭のフェンスに背中がもたれかかった状態で坐位でおり泣いていた状態を発見し、救急要請した。
88(東)	2016	4歳	中等症	児が共同住宅2階ベランダから転落した転落音を聞いた1階居住者が、児が路上に倒れているのを発見し救急要請した。
89(東)	2016	4歳	中等症	家族が外出から帰宅した際に、近隣住人に付き添われ自宅前路上に倒れ泣いている児を発見し、家族から救急要請となった。
90(東)	2016	5歳	中等症	保護者が外出先から帰宅したところ人だかりが出来ており、状況を確認したところ、児がベランダから転落したものと判明して、救急要請した。
91(東)	2017	6歳	軽症	自宅2階のベランダから地上階へ転落し受傷。保護者が救急相談センターに相談後、救急要請となった。
92(東)	2017	2歳	重篤	児が自宅前路上でうつ伏せに倒れている状態を近隣住民が発見。児を近隣住民が発見したほぼ同時刻に外出先から帰宅した保護者に発見者である近隣住民が「2階のベランダから転落したかもしれない」と伝え、保護者が救急要請した。
93(東)	2017	6歳	中等症	児が4階から転落。音を聞きつけた2階の住人が1階の庭で倒れているところを発見し救急要請した。

第4 ベランダからの転落以外の事故事例

今回集計した 145 件以外に、子供のベランダに関する事故で、ベランダからの転落以外の事故事例を以下に示す。ベランダ等へ子供が一人で出入りできる状態、ベランダに台などが置いてある事例があった。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
1(医)	2016	1歳0か月	軽症	一人でハイハイしてベランダに出ようとして段差で転倒した。保護者は近く(ベランダ)にいたが直接目撃しておらず、音で気付いた。
2(医)	2016	10か月	軽症	自宅にて、ベランダに出ようと、つかまり立ちをしていたところ転倒してベランダに落ちた。窓が開いていた。高さ20cmほど。保護者が落ちた瞬間を見ていた。
3(医)	2016	3歳2か月	軽症	ベランダにて、10cmほどの椅子に立っていたところ、滑って転落し、塀に頭をぶつけたようだった。保護者は一緒にいた。
4(医)	2016	8か月	軽症	自宅にて、ベランダの窓が開いていて(2歳6ヶ月の兄弟が開けた)、保護者はトイレに行ったとき、泣き声があったので見に行くと児はうつぶせで倒れて、泣いていた。窓からベランダの高さ20cm程度あり。ベランダはコンクリート。
5(医)	2015	3歳10か月	軽症	ベランダで50cmほどの高さの台に乗っていて遊んでいたところ、バランスを崩して後ろに転倒し、床にぶつけてしまった。
6(医)	2014	1歳9か月	軽症	マンションのベランダとよの間の網戸を開けていた。音がして、見ると児がベランダ側に前向きに転倒していた。
7(医)	2014	5か月	軽症	自宅部屋の窓を開けると窓の外がベランダになっている。ベランダが部屋より30cm低くなっている。部屋の真ん中に寝ていて少し目を離れた隙にベランダに転落した。床はコンクリート。網戸していたつもりがあった。保護者は台所におり、音がして行ったら仰向けで泣いていた。
8(医)	2014	4歳11か月	軽症	2階の窓際に物を置いて、その上に乗って遊んでいた。泣き声が見に行くと、1m下のコンクリートのベランダにうつぶせで倒れていた。
9(医)	2014	11か月	軽症	ベランダ(30cm)に転落した。地面はコンクリート。保護者は近くで洗濯物を干していた。
10(医)	2012	1歳9か月	軽症	保護者が窓を少し開けて、窓の内側からベランダに洗濯物を干していた。洗濯物を干し終わって窓をしめる前に足下にいた児がベランダに転落した。高さは30cm位。地面はコンクリート。
11(医)	2012	1歳9か月	軽症	自宅1階のベランダで、児がベランダ転落防止用のゲージを乗り越え、ベランダに転落した。高さ70cm位。保護者はベランダで作業中だった。ベランダに敷いたスノコとコンクリートにぶつかった。
12(医)	2011	1歳5か月	軽症	児がソファの背もたれに登っていて転落したようす。高さ1m程度。保護者は落ちた所は見えない。音がしたため行くと、児がベランダに落ちて泣いていた。床はコンクリート。

NO.	事故発生年	年齢	危害程度	事故の内容
13(医)	2011	10 か月	軽症	自宅で児がベッドの柵を乗り越えてベランダに転落した。保護者が洗濯物を干すためにドアが開いていた。児が落ちた時、保護者は兄弟と台所で遊んでいたため、瞬間みていない泣き声にて見ると児が仰向けで啼泣していた。

第5 ヒヤリ・ハット調査

日常生活で経験した「ヒヤリ・ハット」経験はどこにも情報提供されることなく多数埋もれていることから、都では、危害危険情報を積極的に掘り起こすため、ヒヤリ・ハット調査を実施している。本項は、乳幼児の事故のうち、転落・転倒をテーマに、危害やヒヤリ・ハットを調査したものうち、ベランダ・バルコニーに関するものをまとめた。

1 調査概要

(1) 調査対象

東京都在住で乳幼児と同居する保護者 3,000 人

(2) 調査期間

平成 26 年 1 月 30 日から平成 26 年 2 月 12 日まで

(3) 調査方法

インターネットによるアンケート形式で実施

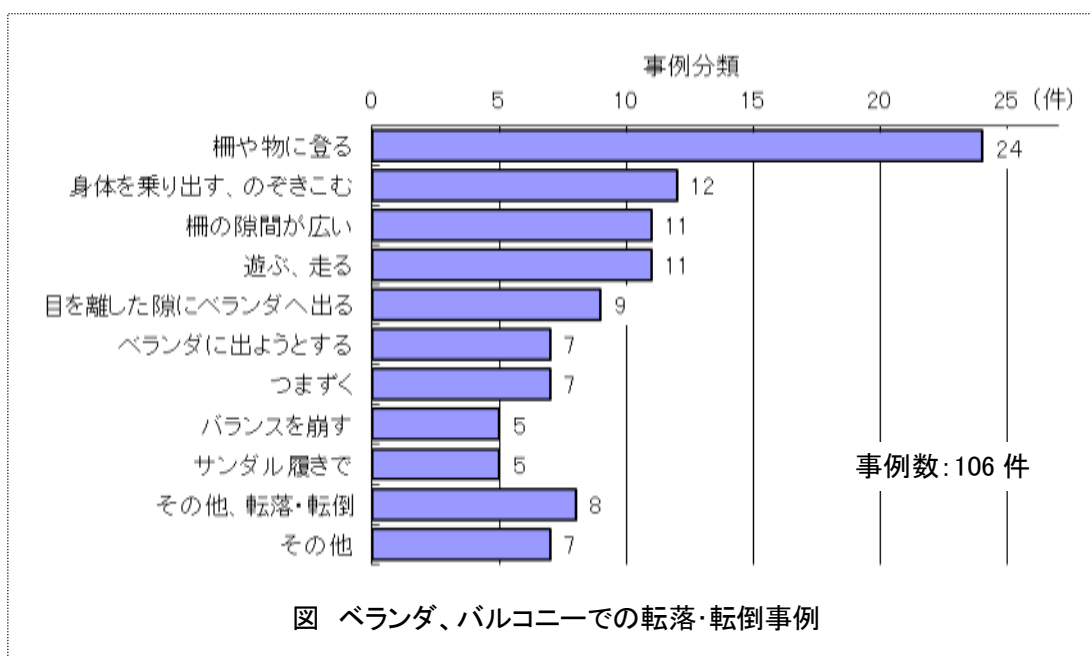
(4) 調査内容

家の居室、家の居室以外、家の外に分けて、製品等毎に乳幼児の転落・転倒の経験等を調査した。

2 ベランダ・バルコニーでのヒヤリ・ハット事例

「柵や物に登る」は 24 件で最も多い。

「身体を乗り出す、のぞきこむ」は 12 件、「柵の隙間が広い」「遊ぶ、走る」は各 11 件である。



主な事例等		保護者が考える原因
エアコンの室外機に登る	2歳の時、いろんなところに登るのが好きで、ベランダの室外機の上に登ってベランダの柵につかまり、ぴよんぴよん飛び跳ねていたので落ちそうで危なかった。	不注意
身を乗り出す	4歳の時、窓からベランダに乗り出し、頭から転倒し救急車で運ばれた。	ベランダに幼児の注意をひくものがあった。
網戸を乳幼児が開ける	ハイハイの時期に網戸を自分で開けて、けっこうな段差のあるベランダに落ちてしまった。 《その後の防止対策》 網戸ロックを購入してつけた。	不注意
網戸を押し破る	息子が1歳でまだハイハイをしていたころ、息子が網戸の下部を押し破りベランダに出たことがあった。ベランダの手すりの下部は隙間が広く(子供の頭くらいの隙間があり)、いつ頭から転落しやしないかとヒヤヒヤしていました。 《その後の防止対策》 網戸の補修。網戸を簡単に開けられないようにスライドロック機器の購入。	製品構造に問題